



繊維や紙の価値を高めるソリューションを ユーザーごとにきめ細かく創出する

コア技術と事業概要

創業以来、繊維加工用薬剤の製造を主力分野とし、精練剤、染料固着剤、染色助剤、柔軟仕上剤、難燃剤、抗菌消臭剤その他の薬剤を取り揃えています。繊維加工の各工程(精練～染色～機能加工)に応じた商品をお客様である染色工場ごとに提案できることが強みです。特に綿繊維用の商品に定評があります。天然繊維である綿は古くから需要が大きく、現在も世界中で栽培や紡績・加工の技術開発が続けられている将来有望な素材です。弊社はこの祖業における技術にさらに磨きをかけ、持続可能な社会の実現に向けたソリューションを提案していきたいと考えています。

注目の新技術・新展開

繊維加工における技術を活かして、製紙分野でもユニークな製品を開発しました。インクジェット印刷用定着剤「ジェットフィックス」シリーズは紙をカチオン化させることにより、耐水性や発色性等の機能を付与します。また蛍光消去剤「FQ」シリーズは古紙などに含まれる蛍光染料の消光に優れた効果を発揮する、ニッチな商品です。プラスチックに代わる素材として紙が再び注目を集めている現在の時流は、高度な技術力をもつ日本の製紙産業にとってもチャンスであり、弊社はこの領域を有望分野と位置付け、新展開していきたいと考えています。



試験布に当社の染料固着剤を処理し、塩素処理水に対する染色堅牢度試験(JIS-L-0884-1983強試験)を行った結果。
[左上隅] 試験前の試験布
[ブランク] 処理を施さなかった試験布の試験結果。塩素により、著しく退色・変色している
[フィックス処理] 処理を施した試験布の試験結果。退色・変色を抑える効果が現れている。
塩素は水道水にも微量含まれており、このように染料固着剤で処理することで繊維製品を洗濯などによる劣化から守ることができる。



当社のインクジェット印刷用定着剤「ジェットフィックス」の耐水試験結果。試験紙に本剤を塗工処理したものと処理していないものをそれぞれ一定時間水に浸け、印刷された文字の滲み具合を見る。
左上:水に浸ける前の試験紙
右上:処理しなかった試験紙の試験結果
左下:ジェットフィックスを低濃度で処理した試験紙の試験結果
右下:ジェットフィックスを高濃度で処理した試験紙の試験結果
本剤の処理により、インクの滲みを抑える効果が現れている。

企業情報



1946年、京都市で創業。以来、繊維染色加工用薬剤を主力とし、染色助剤、染料固着剤、柔軟仕上剤などの商材で高い評価を獲得、最近では難燃剤、抗菌消臭剤などの機能加工剤も開発している。1990年代からは製紙用薬剤も手掛け、大手製紙メーカーとも長期にわたり取引している。この2分野に加え、製造設備や技術を活かした各種化学製品の受託製造もっており、上記3分野が事業の3本柱となっている。

創立 : 1950年4月
資本金 : 10,000,000円
本社 : 京都市下京区中堂寺南町111番地
生産拠点: 久世工場(京都市南区)
Web : <http://www.satoda.co.jp/>
Tel : 075-312-6260

取引のある業界分野



業界の位置づけ



お問い合わせ

京都グリーンケミカル・ネットワーク (KGC-net) 事務局

〒612-8374

京都市伏見区治部町105番地 京都市成長産業創造センター

電話 075-603-6703

E-mail kgc-net@astem.or.jp